

**IASB 情報要請「IFRS 第 9 号『金融商品』の適用後レビュー — 減損」
に対する意見提出 (2023.9.26)**

IASB (国際会計基準委員会) は、IFRS 第 9 号「金融商品」について、適用後レビューの第 1 弾として分類及び測定 of 要求事項のレビューを行った (同適用後レビューに対し、経理委員会は 7 月 18 日、「IASB 公開草案『金融商品の分類及び測定 of 修正案—IFRS 第 9 号及び IFRS 第 7 号 of 修正案』に対する意見提出 of 件」を提出した)。2023 年 5 月 30 日、適用後レビュー of 第 2 弾として IFRS 第 9 号に導入された「予想信用損失モデル」について情報要請が公表された。

経理委員会では、経過措置は効果的であったとし、また留保債務 of 減損 of 引き当てにおいて考慮を求めるとともに、開示における事務負荷 of 軽減を求めるとし、2023 年 9 月 26 日、IASB に提出した。

政一発 第 084 号

2023 年 9 月 26 日

国際会計基準審議会 御中

一般社団法人 日本貿易会
経理委員会

情報要請「IFRS 第 9 号『金融商品』の適用後レビュー — 減損」に対する意見提出 of 件

以下は、国際会計基準審議会(IASB) of 情報要請「IFRS 第 9 号『金融商品』の適用後レビュー — 減損」(以下「本情報要請」と言う。)に対する一般社団法人日本貿易会経理委員会(以下「当会」と言う。) of コメントである。一般社団法人日本貿易会は、日本の貿易商社及び貿易団体を中心とする貿易業界団体であり、当会は、本邦会計基準及び国際会計基準への対応を主な活動内容の一つとしている。(末尾に当会 of 参加会社を記載。)

質問 1 — 減損

IFRS 第 9 号における減損の要求事項は、次のような結果をもたらしているか。

- (a) IAS 第 39 号と比較して、より適時に信用損失を認識し、金融商品について複数の減損モデルがあることにより生じていた複雑性に対処しているか。賛成又は反対の理由は何か。
- (b) 信用リスクが将来キャッシュ・フローの金額、時期及び不確実性に与える影響に関して、企業が有用な情報を財務諸表利用者に提供する結果となっているか。賛成又は反対の理由は何か。

IFRS 第 9 号により導入された減損の要求事項の変更による影響（金融商品に関する情報の作成、監査、当局による監督（エンフォースメント）又は利用の継続的なコスト及び便益を含む）に関する情報を提供されたい。

この質問は、IFRS 第 9 号の減損の要求事項に関するコメント提出者の全体的な見解及び経験を IASB が理解するのに役立つことを目的としている。セクション 2 から 9 は、具体的な要求事項についてのより詳細な情報を求めている。

コメント無し。

質問 2 — 予想信用損失の認識に関する一般的なアプローチ

- (a) 一般的なアプローチに関する根本的な疑問（致命的な欠陥）はあるか。ある場合、そうした根本的な疑問はどのようなものか。

金融商品の存続期間全体を通じて少なくとも 12 か月の予想信用損失を認識し、信用リスクの著しい増大があった場合には全期間の予想信用損失を認識することを企業に要求することが、信用リスクの変動及びそれにより生じる経済的損失に関する有用な情報を企業が提供するという IASB の目的を達成するかどうかを説明されたい。そうでない場合には、一般的なアプローチのコアとなる目的や原則の明瞭性と適合性に関して何が根本的な疑問（致命的な欠陥）であると考えているのかを説明されたい。

- (b) 一般的なアプローチの適用並びにその適用の監査及び当局による監督（エンフォースメント）のコストは、予想よりも著しく大きいか。利用者にとっての便益は、予想よりも著しく低いのか。

特定の金融商品に一般的なアプローチを適用するための継続的なコストが予想よりも著しく大きいのか、又は財務諸表利用者にとって結果としてもたらされる情報の便益が予想よりも著しく低いと考える場合には、当該金融商品に関するコストと便益についての回答者の評価を説明されたい。

コメント無し。

質問 3 — 信用リスクの著しい増大の判定

- (a) 信用リスクの著しい増大の評価に関しての根本的な疑問（致命的な欠陥）はあるか。ある場合、そうした根本的な疑問はどのようなものか。

信用リスクの著しい増大の評価についての原則主義のアプローチが、当初認識以降に信用リスクの著しい増大があったすべての金融商品について全期間の予想信用損失を認識するという IASB の目的を達成しているかどうかを説明されたい。

そうでない場合には、信用リスクの著しい増大の評価のコアとなる目的や原則の明瞭性と適合性に関して何が根本的な疑問（致命的な欠陥）であると考えているのかを説明されたい。

- (b) 信用リスクの著しい増大の評価は一貫して適用することができるか。賛成又は反対の理由は何か。

要求事項が、企業が IFRS 第 9 号における減損の要求事項の範囲に含まれるすべての金融商品に当該評価を一貫して適用するための適切な基礎を提供しているかどうかを説明されたい。

適用における多様性が特定の金融商品又は事実パターンについて存在している場合には、その多様性がどのくらい広がりがあるかの説明、及びそれに関する裏付けとなる証拠を提供するとともに、何がその原因となっているのかを説明されたい。また、その多様性が企業の財務諸表及びそれによりもたらされる情報の財務諸表利用者にとっての有用性にどのように影響を与えるのかも説明されたい。

評価の適用における多様性を識別している場合には、その多様性を解消するための提案を示されたい。

上記(a)及び(b)に回答するにあたり、信用リスクの著しい増大の判定における判断の適用（スポットライト 3 参照）に関する情報を含めていただきたい。

コメント無し。

質問 4 — 予想信用損失の測定

- (a) 予想信用損失の測定に関する要求事項に関しての根本的な疑問（致命的な欠陥）はあるか。ある場合、そうした根本的な疑問はどのようなものか。

予想信用損失の測定に関する要求事項が、企業の将来キャッシュ・フローの金額、時期及び不確実性に関する有用な情報を財務諸表利用者に提供するという IASB の目的を達成しているかどうかを説明されたい。そうでない場合には、測定の要求事項のコアとなる目的や原則の明瞭性と適合性に関して何が根本的な疑問（致命的な欠陥）であると考えているのかを説明されたい。

- (b) 測定の要求事項は一貫して適用できるか。賛成又は反対の理由は何か。

当該要求事項は、企業が予想信用損失を IFRS 第 9 号における減損の要求事項の範囲に含まれるすべての金融商品について一貫して測定するための適切な基礎を提供しているかどうかについて説明されたい。

適用における多様性が特定の金融商品又は事実パターンについて存在している場合には、その多様性にどのくらい広がりがあるかの説明、及びそれに関する裏付けとなる証拠を提供するとともに、何がその原因となっているのかを説明されたい。また、

その多様性が企業の財務諸表及びそれによりもたらされる情報の財務諸表利用者にとっての有用性にどのように影響を与えるのかも説明されたい。

要求事項の適用における多様性を識別している場合には、その多様性を解消するための提案を示されたい。

上記(a)及び(b)に回答するにあたり、将来予測的なシナリオ（スポットライト 4.1 参照）、モデル適用後の調整又はマネジメント・オーバーレイ（スポットライト 4.2 参照）及びオフバランスのエクスポージャー（スポットライト 4.3 参照）に関する情報を適宜含めていただきたい。

(a)について

- ・ 信用補完から見込まれるキャッシュ・フローを予想信用損失の測定に含めるべきか否かについて、IFRS 第 9 号 B5.5.55 項において「企業が区分して認識していない」事が予想信用損失の測定に含まれる要件の 1 つとされている。
- ・ しかしながら、債権に係る契約上、相手先の債務不履行時に同一相手先に対する債務と相殺できる場合、当該債務を別個に認識はしているが信用補完の機能を有していると考えられることが明確である。したがって経済事象を忠実に表現するために、このような場合においては当該キャッシュ・フローを予想信用損失の測定に含めるべきであり、IFRS 第 9 号 B5.5.55 項の修正を行うことを提案する。

(b)について

- ・ 「他の信用補完」として含めるべきものについては適用における多様性が存在しており、「他の信用補完」として含めるべきものの例示の記載があると、適用に係る多様性が解消されると考える。

質問 5 — 営業債権、契約資産及びリース債権についての単純化したアプローチ

- (a) 単純化したアプローチに関しての根本的な疑問（致命的な欠陥）はあるか。ある場合、そうした根本的な疑問はどのようなものか。

単純化したアプローチの適用が、IFRS 第 9 号の減損の要求事項の営業債権、契約資産及びリース債権への適用のコスト及び複雑性を低減させるという IASB の目的を達成しているかどうかを説明されたい。

そうでない場合、単純化したアプローチのコアとなる目的や原則の明瞭性と適合性に関して何が根本的な疑問（致命的な欠陥）であると考えているのかを説明されたい。

- (b) 単純化したアプローチの適用並びにその適用の監査及び当局による監督（エンフォースメント）のコストは、予想よりも著しく大きいか。利用者にとっての便益は、予想よりも著しく低いのか。

単純化したアプローチの適用の継続的なコストが予想よりも著しく大きいか、又は財務諸表利用者にもたらされる情報の便益が予想よりも著しく低いと考える場合には、コストと便益についての回答者の評価を説明されたい。

コメント無し。

質問 6 — 購入又は組成した信用減損金融資産

購入又は組成した信用減損金融資産についての IFRS 第 9 号の要求事項は一貫して適用することができるか。賛成又は反対の理由は何か。

当該要求事項はこれらの種類の金融資産に一貫して適用することができ、これらの取引の根底にある経済的実質を忠実に反映した会計結果を導くことができるかどうかを説明されたい。

これらの要求事項に関する具体的な適用上の疑問がある場合には、その事実パターンを記述し、次のようにされたい。

- (a) IFRS 第 9 号の要求事項がどのように適用されるのかを説明する。
- (b) 当該要求事項の適用による影響を説明する（例えば、企業の財務諸表に対する定量的な影響又は運用上の影響）。
- (c) その事実パターンにどのくらい広がりがあるのかを説明する。
- (d) フィードバックを証拠で裏付ける。

コメント無し。

質問 7 — IFRS 第 9 号における減損の要求事項と他の要求事項の適用

IFRS 第 9 号における減損の要求事項を IFRS 第 9 号における他の要求事項又は他の IFRS 会計基準書における要求事項とともに適用する方法は明確であるか。賛成又は反対の理由は何か。

減損の要求事項を他の要求事項とともに適用する方法に関して具体的な疑問点がある場合には、何が曖昧さの原因となっているのか、及びその曖昧さがどのような影響を企業の財務諸表及びそれによりもたらされる情報の財務諸表利用者にとっての有用性に与えるのかも説明されたい。事実パターンを記述し、次のようにされたい。

- (a) コメントに関連する IFRS 第 9 号又は他の IFRS 会計基準書における要求事項を示す。
- (b) 要求事項を適用することによる影響を説明する（例えば、企業の財務諸表に対する定量的影響又は運用上の影響）。
- (c) その事実パターンにどのくらい広がりがあるのかを説明する。
- (d) フィードバックを証拠で裏付ける。

この質問に回答するにあたり、本文書のこのセクションに記述した事項に関する情報を含めていただきたい。

コメント無し。

質問 8 — 経過措置

経過措置の適用並びにその適用の監査及び当局による監督（エンフォースメント）のコストは、予想よりも著しく大きいか。利用者にとっての便益は、予想よりも著しく低いのか。

比較情報の修正再表示の免除と経過的な開示の要求との組合せが、財務諸表の作成者にとってのコストの低減と財務諸表利用者にとっての有用な情報の提供との適切なバランスを達成したかどうかを説明されたい。

財務諸表の作成者が減損の要求事項を遡及適用する際に直面した予想外の影響又は課題を説明されたい。また、それらの課題はどのように克服されたか。

- ・ IFRS 第 9 号の初度適用においては、追加情報の収集やシステム構築等において、予想を遙かに上回るコストが発生したため、比較情報の修正再表示の免除は、以下の理由から効果的であった。
 - 財務諸表作成者の観点からは、作成コストの低減につながった
 - 財務諸表利用者の観点からは、過去情報の有用性は相対的に小さいと想定される

質問 9 — 信用リスクの開示

- (a) IFRS 第 7 号における開示要求に関しての根本的な疑問（致命的な欠陥）はあるか。ある場合、そうした根本的な疑問はどのようなものか。

信用リスクについての開示目的と最低限の開示要求との組合せが、財務諸表利用者が次のような情報を受け取ることの間の適切なバランスを達成しているかどうかを説明されたい。

- (i) 比較可能な情報 — すなわち、同じ要求事項がすべての企業に適用され、企業が晒されているリスクに関する比較可能な情報を利用者が受け取るようにする。
- (ii) 目的適合性のある情報 — すなわち、提供される開示は、企業の金融商品の利用の範囲及び関連するリスクをどの程度まで引き受けるかどうかに応じて決まる。

適切なバランスが達成されていない場合、当該開示要求のコアとなる目的や原則の明瞭性と適合性に関して何が根本的な疑問（致命的な欠陥）であると考えているのかを説明されたい。

- (b) これらの開示要求の適用並びにその適用の監査及び当局による監督（エンフォースメント）のコストは、予想よりも著しく大きいか。利用者にとっての便益は、予想よりも著しく低いのか。

信用リスクについての特定の開示を提供するための継続的なコストが予想よりも著しく大きいか、又は財務諸表利用者にもたらされる情報の便益が予想よりも著しく低いと考える場合には、当該開示に関するコストと便益についての回答者の評価を説明されたい。また、回答者が識別した事項を解決するための提案を示されたい。

IASB が信用リスクについて具体的な開示要求を追加すべきであると考えている場合には、それらの要求事項を記述し、それが財務諸表利用者にとって有用な情報をどのように提供することになるのかを記述されたい。

また、企業の信用リスクについての開示がデジタル報告と両立可能であるかどうか、具体的には財務諸表利用者が信用リスクに関する情報をデジタル的に効果的に抽出し比較し分析することができるかどうかを説明されたい。

(a)について

- ・ 信用リスクの認識は各社それぞれの評価に基づくものであり、企業がどのようにリスクを管理しているかに基づく開示は、企業間で比較可能であるとは考えにくい。
- ・ したがって追加的な開示による便益は限定的であることから、スポットライト 9 に記載されている最低限の開示要求の追加は不要と考える。

(b)について

- ・ 開示要求の一部については、財務諸表利用者における便益よりも作成者側におけるコストの方が上回ると考えるため、開示事項の簡素化を提案する。具体的には、IFRS 第 7 号 35H 項についての簡素化、及び IFRS 第 7 号 35I 項の削除を提案する。
- ・ IFRS 第 7 号 35H 項は、損失評価引当金についてクラス別に期首残高から期末残高への調整表の開示を要求しているが、期中変動額を含む調整表の作成には他の開示項目に比して多くのコストを要することから期末残高の開示だけで充分と考えられる。
- ・ また、IFRS 第 7 号 35I 項は損失評価引当金の期中変動に対する説明を求めているものであることから、IFRS 第 7 号 35H 項の簡素化とともに、IFRS 第 7 号 35I 項については削除を提案する。

質問 10 — その他の事項

- (a) IFRS 第 9 号における減損の要求事項の適用後レビューの一部として IASB が検討すべきであると回答者が考える追加の事項はあるか。ある場合、当該事項はどのようなものか、また、検討すべきであるとする理由はなにか。

それらの事項を適用後レビューの文脈において考慮すべきである理由、及び指摘された事項の広がりを説明されたい。実例及び裏付けとなる証拠を示されたい。

- (b) IFRS 第 9 号における減損の要求事項の理解可能性及びアクセスしやすさに関して、IASB が将来の IFRS 会計基準書を開発するにあたり考慮することのできるフィードバックがあるか。

コメント無し。

以 上

一般社団法人日本貿易会

〒100-0013

東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 1 号

霞が関コモンゲート西館 20 階

経理委員会委員会社

CBC 株式会社

蝶理株式会社

阪和興業株式会社

株式会社ホンダトレーディング

稲畑産業株式会社

伊藤忠商事株式会社

岩谷産業株式会社

JFE 商事株式会社

兼松株式会社

興和株式会社

丸紅株式会社

三菱商事株式会社

三井物産株式会社

長瀬産業株式会社

日鉄物産株式会社

野村貿易株式会社

神栄株式会社

双日株式会社

住友商事株式会社

豊田通商株式会社

ユアサ商事株式会社

Document No.84
September 26, 2023

To the International Accounting Standards Board

Accounting & Tax Committee
Japan Foreign Trade Council,
Inc.

**Comments on Request for Information
"Post-implementation Review IFRS 9 Financial Instruments Impairment"**

The following are the comments from the Accounting & Tax Committee of Japan Foreign Trade Council (JFTC) regarding the International Accounting Standards Board (IASB)'s Request for Information "Post-implementation Review IFRS 9 Financial Instruments Impairment". JFTC is a trade-industry association with Japanese trading companies and trading organizations as its core members, while the principal function of its Accounting & Tax Committee is to respond to developments in Japanese and international accounting standards. (Member companies of JFTC Accounting & Tax Committee are listed at the end of this document.)

Question 1 – Impairment

Do the impairment requirements in IFRS 9 result in:

- (a) **more timely recognition of credit losses compared to IAS 39 and address the complexity caused by having multiple impairment models for financial instruments? Why or why not?**
- (b) **an entity providing useful information to users of financial statements about the effect of credit risk on the amount, timing and uncertainty of future cash flows? Why or why not?**

Please provide information about the effects of the changes to the impairment requirements introduced by IFRS 9, including the ongoing costs and benefits of preparing, auditing, enforcing or using information about financial instruments.

This question aims to help the IASB understand respondents' overall views and experiences relating to the IFRS 9 impairment requirements. Sections 2–9 seek more detailed information on specific requirements.

N/A

Question 2— The general approach to recognising expected credit losses

- (a) **Are there fundamental questions (fatal flaws) about the general approach? If yes, what are those fundamental questions?**

Please explain whether requiring entities to recognise at least 12-month expected credit losses throughout the life of the instrument and lifetime expected credit losses if there has been a significant increase in credit risk achieves the IASB's objective of entities providing useful information about changes in credit risk and resulting economic losses. If not, please explain what you think are the fundamental questions (fatal flaws) about the clarity and suitability of the core objectives or principles of the general approach.

- (b) **Are the costs of applying the general approach and auditing and enforcing its application significantly greater than expected? Are the benefits to users significantly lower than expected?**

If, in your view, the ongoing costs of applying the general approach to particular financial instruments are significantly greater than expected or the benefits of the resulting information to users of financial statements are significantly lower than expected, please explain your cost–benefit assessment for those instruments.

N/A

Question 3— Determining significant increases in credit risk

- (a) **Are there fundamental questions (fatal flaws) about the assessment of significant increases in credit risk? If yes, what are those fundamental questions?**

Please explain whether the principle-based approach of assessing significant increases in credit risk achieves the IASB's objective of recognising lifetime expected credit losses on all financial instruments for which there has been a significant increase in credit risk since initial recognition.

If not, please explain what you think are the fundamental questions (fatal flaws) about the clarity and suitability of the core objectives or principles of the assessment of significant increases in credit risk.

- (b) **Can the assessment of significant increases in credit risk be applied consistently? Why or why not?**

Please explain whether the requirements provide an adequate basis for entities to apply the assessment consistently to all financial instruments within the scope of impairment requirements in IFRS 9.

If diversity in application exists for particular financial instruments or fact patterns, please explain and provide supporting evidence about how pervasive that diversity is and explain what causes it. Please also explain how the diversity affects entities' financial statements and the usefulness of the resulting information to users of financial statements.

If you have identified diversity in application of the assessment, please provide your suggestions for resolving that diversity.

In responding to (a) and (b), please include information about **applying judgement** in determining significant increases in credit risk (see Spotlight 3).

N/A

Question 4— Measuring expected credit losses

- (a) **Are there fundamental questions (fatal flaws) about requirements for measuring expected credit losses? If yes, what are those fundamental questions?**

Please explain whether the requirements for measuring expected credit losses achieve the IASB's objective of providing users of financial statements with useful information about the amount, timing and uncertainty of an entity's future cash flows. If not, please explain what you think are the fundamental

questions (fatal flaws) about the clarity and suitability of the core objectives or principles of the measurement requirements.

(b) Can the measurement requirements be applied consistently? Why or why not?

Please explain whether the requirements provide an adequate basis for entities to measure expected credit losses consistently for all financial instruments within the scope of impairment requirements in IFRS 9.

If diversity in application exists for particular financial instruments or fact patterns, please explain and provide supporting evidence about how pervasive that diversity is and explain what causes it. Please also explain how the diversity affects entities' financial statements and the usefulness of the resulting information to users of financial statements.

If you have identified diversity in application of the requirements, please provide your suggestions for resolving that diversity.

In responding to (a) and (b), please include information about **forward-looking scenarios** (see Spotlight 4.1), **post-model adjustments or management overlays** (see Spotlight 4.2) and **off-balance-sheet exposures** (see Spotlight 4.3), as relevant.

Regarding (a)

- Regarding whether cash flows expected from credit enhancements should be included in measuring expected credit losses, in IFRS 9.B5.5.55, “not recognized separately by the entity” is one of the criteria for being included in the measurement of expected credit losses.
- However, in contracts pertaining to receivables, when a counterparty defaults and this can be offset by a debt to the same counterparty, it is clear that while the concerned debt is recognized separately, it can be considered to have the function of credit enhancement. Consequently, to faithfully represent the economic phenomenon, in such cases the concerned cash flow should be included in the measurement of expected credit losses, and we propose that IFRS 9.B5.5.55 be revised.

Regarding (b)

- There is diversity in application regarding what should be included as “other credit enhancements,” and we think the provision of examples of what should be included as “other credit enhancements” would resolve the diversity regarding application.

<p>Question 5— Simplified approach for trade receivables, contract assets and lease receivables</p> <p>(a) Are there fundamental questions (fatal flaws) about the simplified approach? If yes, what are those fundamental questions?</p> <p>Does applying the simplified approach achieve the IASB’s objective of reducing the costs and complexities of applying IFRS 9 impairment requirements to trade receivables, contract assets and lease receivables?</p> <p>If not, please explain what you think are the fundamental questions (fatal flaws) about the clarity and suitability of the core objectives or principles of the simplified approach.</p> <p>(b) Are the costs of applying the simplified approach and auditing and enforcing its application significantly greater than expected? Are the benefits to users significantly lower than expected?</p> <p>If, in your view, the ongoing costs of applying the simplified approach are significantly greater than expected, or the benefits of the resulting information to users of financial statements are significantly lower than expected, please explain your cost–benefit assessment.</p>
--

N/A

<p>Question 6— Purchased or originated credit-impaired financial assets</p> <p>Can the requirements in IFRS 9 for purchased or originated credit-impaired financial assets be applied consistently? Why or why not?</p> <p>Please explain whether the requirements can be applied consistently to these types of financial assets and lead to accounting outcomes that faithfully reflect the underlying economic substance of these transactions.</p> <p>If there are specific application questions about these requirements, please describe the fact pattern and:</p> <p>(a) explain how the IFRS 9 requirements are applied;</p> <p>(b) explain the effects of applying the requirements (for example, the quantitative effect on an entity’s financial statements or an operational effect);</p> <p>(c) explain how pervasive the fact pattern is; and</p> <p>(d) support your feedback with evidence.</p>

N/A

Question 7— Application of the impairment requirements in IFRS 9 with other requirements

Is it clear how to apply the impairment requirements in IFRS 9 with other requirements in IFRS 9 or with the requirements in other IFRS Accounting Standards? If not, why not?

If there are specific questions about how to apply the impairment requirements alongside other requirements, please explain what causes the ambiguity and how that ambiguity affects entities' financial statements and the usefulness of the resulting information to users of financial statements. Please describe the fact pattern and:

- (a) indicate the requirements in IFRS 9 or in other IFRS Accounting Standards to which your comments relate;
- (b) explain the effects of applying the requirements (for example, the quantitative effect on an entity's financial statements or an operational effect);
- (c) explain how pervasive the fact pattern is; and
- (d) support your feedback with evidence.

In responding to this question, please include information about matters described in this section of the document.

N/A

Question 8— Transition

Were the costs of applying the transition requirements and auditing and enforcing their application significantly greater than expected? Were the benefits to users significantly lower than expected?

Please explain whether the combination of the relief from restating comparative information and the requirement for transition disclosures achieved an appropriate balance between reducing costs for preparers of financial statements and providing useful information to users of financial statements.

Please explain any unexpected effects or challenges preparers of financial statements faced applying the impairment requirements retrospectively. How were those challenges overcome?

- In the initial application of IFRS 9, costs emerged that greatly exceeded the expectations in the collection of additional information, the construction of systems, etc., so the relief from restating comparative information was effective for the following reasons.

- This led to reducing preparation costs from the perspective of preparers of financial statements.
- From the perspective of users of financial statements, the usefulness of past information is assumed to be relatively small.

Question 9— Credit risk disclosures

(a) Are there fundamental questions (fatal flaws) about the disclosure requirements in IFRS 7 for credit risk? If yes, what are those fundamental questions?

Please explain whether the combination of disclosure objectives and minimum disclosure requirements for credit risk achieves an appropriate balance between users of financial statements receiving:

- (i) comparable information—that is, the same requirements apply to all entities so that users receive comparable information about the risks to which entities are exposed; and
- (ii) relevant information—that is, the disclosures provided depend on the extent of an entity’s use of financial instruments and the extent to which it assumes associated risks.

If an appropriate balance is not achieved, please explain what you think are the fundamental questions (fatal flaws) about the clarity and suitability of the core objectives or principles of the disclosure requirements.

(b) Are the costs of applying these disclosure requirements and auditing and enforcing their application significantly greater than expected? Are the benefits to users significantly lower than expected?

If, in your view, the ongoing costs of providing specific credit risk disclosures are significantly greater than expected or the benefits of the resulting information to users of financial statements are significantly lower than expected, please explain your cost–benefit assessment for those disclosures. Please provide your suggestions for resolving the matter you have identified.

If, in your view, the IASB should add specific disclosure requirements for credit risk, please describe those requirements and explain how they will provide useful information to users of financial statements.

Please also explain whether entities’ credit risk disclosures are compatible with digital reporting, specifically whether users of financial statements can effectively extract, compare and analyse credit risk information digitally.

Regarding (a)

- The recognition of credit risk is based on the assessment of each entity, and it is difficult to think that disclosure based on how entities are managing risk is comparable across entities.
- Consequently, because the benefit from additional disclosure is limited, we think that the addition of minimal disclosure requirements stated in Spotlight 9 is unnecessary.

Regarding (b)

- We propose that the disclosure requirements be simplified because we think that for part of the disclosure requirements, the costs to the preparers of financial statements exceed the benefits to the users. Specifically, we propose that IFRS 7.35H be simplified and IFRS 7.35I be deleted.
- IFRS 7.35H requires the disclosure of a reconciliation table from the opening balance to the closing balance of the loss allowance by class of financial instrument, but we think that the disclosure of the closing balance alone is sufficient because compared with other disclosure requirements the preparation of a reconciliation table which includes the amounts of changes during the period requires much cost.
- Also, because IFRS 7.35I requires an explanation of changes in the loss allowances during the period, together with the simplification of IFRS 7.35H, we propose that IFRS 7.35I be deleted.

Question 10— Other matters

- (a) Are there any further matters that you think the IASB should examine as part of the post-implementation review of the impairment requirements in IFRS 9? If yes, what are those matters and why should they be examined?**
- Please explain why those matters should be considered in the context of this post-implementation review and the pervasiveness of any matter raised. Please provide examples and supporting evidence.
- (b) Do you have any feedback on the understandability and accessibility of the impairment requirements in IFRS 9 that the IASB could consider in developing its future IFRS Accounting Standards?**

N/A

Japan Foreign Trade Council, Inc.

Kasumigaseki Common Gate West Tower 20F

3-2-1, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,

Tokyo 100-0013, Japan

Website: https://www.jftc.or.jp/english/home_e.htm

Members of the Accounting & Tax Committee

CBC Co., Ltd.

Chori Co., Ltd.

Hanwa Co., Ltd.

Honda Trading Corporation

Inabata & Co., Ltd.

Itochu Corporation

Iwatani Corporation

JFE Shoji Trade Corporation

Kanematsu Corporation

Kowa Company, Ltd.

Marubeni Corporation

Mitsubishi Corporation

Mitsui & Co., Ltd.

Nagase & Co., Ltd.

Nippon Steel Trading Corporation

Nomura Trading Co., Ltd.

Shinyei Kaisha

Sojitz Corporation

Sumitomo Corporation

Toyota Tsusho Corporation

Yuasa Trading Co., Ltd.